

1年間の成果と課題

【令和7年度の重点】		➡	【令和7年度の成果・課題等】
教科指導面	各教室でプロジェクターや電子黒板が使えるように、プロジェクター等を購入予定である。タブレット活用についてはまだまだ課題もあるが、タブレットの有効活用を含めたICT教育の充実を目指していきたい。	➡	プロジェクターについては、本年度まずは1学年使用できるように購入していただいた。ICT活用については、まだまだ課題も多いが、教育活動にうまく活用できるように教員側も生徒側も努力していきたい。
生活指導面	早期発見・早期対応を心がけ、生徒が安心して登校できる学校作りを目指す。また、ICT教育の推進により起こる別角度のSNS問題に対して生徒への啓発活動を行い、ネットモラルや自己防衛能力を養う。	➡	大きな問題行動は特になかったが携帯電話やICT教育のデメリットである校内での携帯電話やICTの使用についての生徒のハードルは年々下がっている。LHR等、啓発活動を行ったが、別角度からの考え方が必要となる。
進路指導面	今年度から共通テストがウェブ出願になるため、抜け漏れがないように丁寧な指導していく必要がある。また、書類審査や面接が入試内容に含まれるため、早期に明確な進路のビジョンを持たせる工夫が必要である。	➡	共通テストの出願に関しては、担任と協力しながら滞りなく完了することができた。1、2年生で学部学科説明会や出前授業、進路講演会等を実施することで、進路を具体化するきっかけ作りはできたと思われる。
施設設備面	今年度は大きな工事の予定はない。統合型校務支援システム及びタブレット端末の活用法を充実させる。災害時における市の避難場所としての役割を果たしていく。	➡	施設面では武道館床面の改修等を行い、設備面ではプロジェクター等の整備を行った。統合型校務支援システムについては、職員の習熟度が上がり順調な運用ができた。避難場所については市と連携し役割を果たせた。
その他	今年度も鹿児島市立美術館及び地域との連携を深めるとともに、行事等を通じて生徒の取り組みや活躍を紹介する機会とする。地域活動では行事を精選し、今後も持続可能な連携のあり方を検討する。	➡	鹿児島市立美術館においては、美術科の校外美術鑑賞会でバックヤードを見学させていただく等、教育的に大変有意義な取組ができた。また、地域活動においては、各学科や部活動で、小・中学校と連携した取組ができた。

1年	授業、行事や部活動等を通して松陽高校に慣れ、松陽高校の一人としての自覚した行動がとれている場面が多く見られるようになり成長を感じています。今後もよろしくお願いいたします。
2年	行事や部活動等において、中心的役割を担うことで苦勞しながらも、地域の皆さんや保護者のご協力のおかげで、生徒個々が成長できたことに深く感謝いたします。
3年	体育祭3連覇。文化祭や学校行事等で学年のまとまりを深められた。音楽科や美術科の活躍も光った。進路も最後まで諦めず取り組んだ生徒が多く見られ結果もついてきた。
音楽	個人コンクールでの県代表、全国大会での上位入賞。また吹奏楽部全国大会、音楽部九州大会出場の成果をあげた。今後も指導、施設面で引き続きサポートしていきたい。
美術	各種イベント活動に参加し、地域の方々との交流を深めることができた。今後も美術科の特色を発信し、コンクール等への出品を通して、さらなる成果の向上を図りたい。